

今年の教員の賃金も大幅賃上げ確実か？ 2025連合春闘で民間賃金5%アップ！

宮城高校教育ネットワークユニオン（宮城ネット）が加盟する日教組は全国の労働組合と連携する「連合（芳野友子会長）」に加入しています。連合は2025春期生活闘争（春闘）の全国集計結果を発表しました。

●今年の春闘相場は5%

それによると中小企業を含む賃上げ率は5%を超える数値となっています。

●公務員は秋闘で

公務員賃金は民間の賃金に準じて毎年改定を行っています。国家公務員は人事院で、教員を含む県職員は県人事委員会で民間との賃金格差を調査してその格差を解消するための改定を10月に行います。民間の賃金交渉＝春闘に対して公務員賃金の確定交渉は「秋闘」と呼ばれます。

●公務員連絡会に結集しよう！

私たち公務員はこれから迎える国家公務員の賃上げに向けて、公務員連絡会による人事院交渉を支援しなければなりません。なぜなら地方公務員の賃金は国家公務員にほぼ準拠した改定が為されるからです。つまり、国家公務員の給与改定が決まると次に地方公務員の改定の順番となるのです。つま

り、民間給与↓国家公務員の給与↓地方公務員の給与、という一連の流れが毎年循環しながら給料阿がチェ往くのです。アベノミクスの中で長らく停滞していた給与水準は昨年ようやく月給・ボーナスとも2年連続の引き上げとなりました。今年はさらに給与水準の3年連続引き上げを確実にしていかなければなりません。

●物価上昇率を上回る賃上げを

しかし、いくら給料が上がっても物価がそれ以上に高騰すれば手元に残るお金（可処分所得）は減る一方です。今のところ物価上昇率の方が給料の上昇率を上回っており、お金は家計から出る一方になっています。物価上昇は景気の回復には必要な流れですので、今では政府が労働組合の言うように会社経営者に対して「給料を上げてください」とお願いしている有様です。

この流れを確かなものにするためにこの夏にかけての国家公務員の賃金交渉に勝たねばならないのです。

●公務員賃金の増大に向けて

私たち日教組は夏の人事院交渉を支援するために東京で行われる支援行動に参加してきました。今

年も暑い中ですが日比谷の野外音楽堂に全国の公務員団体とともに結集して支援行動を行います。

そして国家公務員賃金が確定したらその次は宮城県の人事委員会に賃金大幅増大の勧告を出させなければなりません。

どうか皆さんも連合・日教組・宮城ネットに結集して秋の人事委員会勧告と賃金確定を勝ち取っていきましょう！

